

米中デジタル覇権競争に大きな転機？

一橋大学名誉教授 野口^{ぐち}悠紀^{ゆき}雄^お

- *アント上場停止事件の衝撃
- *中国のIT産業政策の転換
- *新興勢力の予想超えた成長
- *マネー情報も国家管理
- *背後にデジタル人民元
- *IT産業の発展に逆風
- *米国の産業政策は転換へ
- *国家による制御か自由か
- *デジタル人民元は国内利用
- *国主導の産業発展は疑問



柴生田 それでは開会いたします。

本日は、野口悠紀雄先生においでいただきました。

アメリカの新政権が発足し、米中のデジタル覇権の行方が注目されているところでございます。アメリカ、中国ともに新しい動きも出ておりますので、今日はそういうことも踏まえて今後を展望していただきたいと思えます。

それでは野口先生、よろしくお願いいたします。

アント上場停止事件の衝撃

野口 皆さんこんにちは。野口悠紀雄です。本日、経済倶楽部定例講演会においてお話しできる機会を得ましたことをたいへんうれしく思

っております。主催をさせていただきました経済倶楽部の皆様方に御礼申し上げます。本日は、「米中デジタル覇権競争に大きな転機？」というタイトルでお話をいたします。

1番目のテーマは、「アントの上場停止事件」です。

アントというのは、中国のフィンテックの企業です。できたのはわずか6年前ですけれども、その後急成長しました。アントというのはアリペイという電子マネーを運営している会社として知られています。アリババというeコマースの中国最大の会社の子会社として6年前に発足した。それがアリペイという電子マネーを運営することによって急成長しました。

実は去年、2020年の10月末から11月にか